

すべりにくさはそのままに汚れを落としやすくした床タイル「マイクロガードフロア」

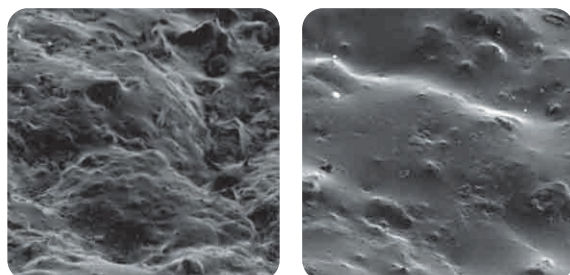
玄関床は、雨がかからないため汚れが流されることなく染み込んでしまいます。大切なお客様を迎える玄関には、安心感があり、お掃除も簡単な床材がお薦めです。

無釉タイプ (タイプI)

メンテナンス性向上のメカニズム

すべりにくさはそのままに、独自の技術によりタイル表面の微細な孔を極小にとどめ、汚れが侵入しにくくすることで、メンテナンス性を向上しています。

[タイルの表面の拡大写真]



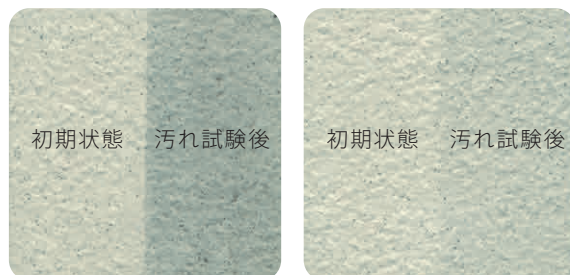
従来のタイル

マイクロガードフロア

汚れの落としやすさの効果

LIXIL独自の厳しい汚れ試験を行った結果、汚れの落ち方に明確な差ができました。

[強制汚れ試験]



従来のタイル

マイクロガードフロア

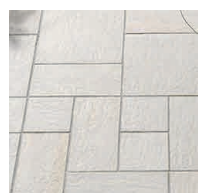
代表的な商品



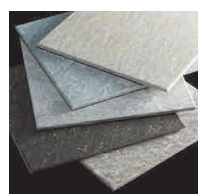
ベスパ
IPF-300 / VSP-MA1...VSP-QT4



ライトスレート
IPF-630 / LTS-1~LTS-5
IPF-300 / LTS-1~LTS-5



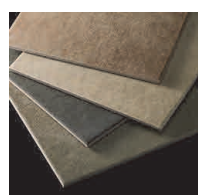
アレス
ALS-150/1...12
ALS-315/1...12
ALS-300/1...12



ジョイアストーン
IPF-300/GIO-11~GIO-15
IPF-630/GIO-11~GIO-15



コルディアール
IPF-300/COR-11~COR14
IPF-630/COR-11~COR14

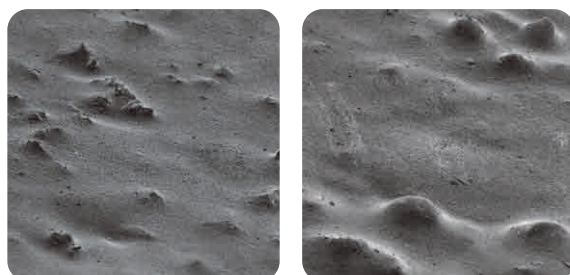


アルディーザ
IPF-300/ADI-11~14
IPF-630/ADI-11~14

施釉タイプ (タイプII)

モップなどの引っ掛かりを低減するために、独自技術により施釉外床タイルの表面の凸部に丸みを与えることでメンテナンス性を向上しています。

[タイルの表面の拡大写真]



従来のタイル

マイクロガードフロア

施釉外床タイルにおいて、表面の凹凸を改良することで、清掃時におけるモップが引っかかりにくくなり、清掃性が向上しています。

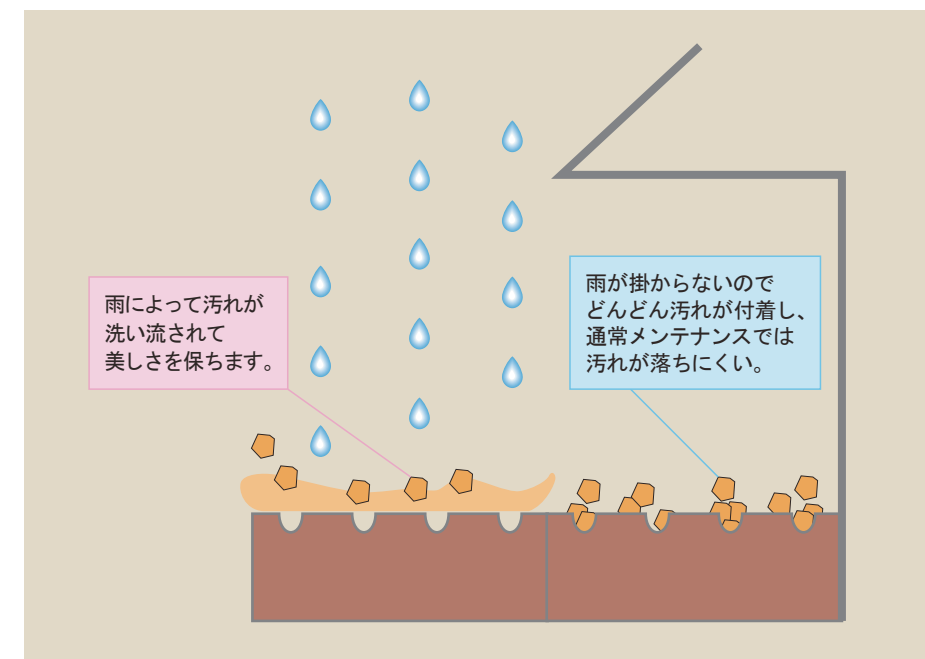


従来のタイル

マイクロガードフロア

これが外床タイルの汚れの正体です

通常の屋外床では、汚れが雨によって流されるので、タイル表面の細かな凹凸部まで汚れが入り込むことはありません。しかし、雨のかからない部分では汚れが流されず、さらに靴などで踏まれることで汚れが奥まで侵入してしまいます。こうなると通常の清掃やメンテナンスでは落ちにくくなってしまいます。また、表面に尖った凸部がある施釉タイルは、モップなどで容易に清掃ができませんでした。



マイクロガードフロア仕様タイルの施工例



アルディーザ施工例

ジョイアストーン施工例

※メンテナンスを軽減しますが汚れないわけではありません。また、建物立地条件や採用部位によってメンテナンス性に差があります。

- 記載の商品写真は印刷のため実際の色とは多少の差があります。現物またはサンプルなどにてご確認ください。
- 事例写真のため、廃盤品も含まれている場合がありますのでご了承ください。
- 掲載内容及び写真・図版の無断転載はかたくお断りします。(許可なく転載・流用した場合、損害賠償が発生します。)
- 仕様・価格は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。